

自主、自立、自衛によって輝く朝鮮民主主義人民共和国

朝鮮社会科学者協会室長
キムチャンギョン

尊敬する代表のみなさん！

親愛なる友人のみなさん！

わたしは「自主と主権、社会発展—朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年記念」に関するチュチェ思想研究セミナーに参加したみなさんを熱烈に祝賀します。

今日、朝鮮人民は栄えある朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を盛大に祝っています。

一国、一民族の歴史において 75 年は決して長い歳月ではありません。しかし、この間、朝鮮の総合的国力、朝鮮人民の運命では文字通り劇的な転換が起きました。

人民の安寧と幸福を千年、万年保証し、人民のすべての夢と理想を実現できる実際の力をもった自主、自立、自衛の強国、まさにこれが共和国創建 75 周年を迎える今日のチュチェ朝鮮の姿です。

金正恩総書記は次のように述べています。

「主体性は社会主義の本性であり、政治における自主、経済における自立、国防における自衛は朝鮮式社会主義の永遠の勝利と隆盛・繁栄への道である」

わが共和国の 75 年の歴史は、自主政治を確固と実施してきた歴史として輝いています。

自主政治は自国人民の民族的独立と自主権を固守するための政治であり、自国人民の利益を擁護し、自国人民の力に依拠する政治です。

自主政治は自主独立国家の第一の表徴であり、第一の生命です。いかなる民族であれ、自主政治を実施してこそ、独立と自由を保障することができ、幸福と繁栄を成し遂げることができます。

金日成主席と金正日総書記は自主政治を確固たる政治的信条とし、革命指導の全期間、徹底した自主政治で朝鮮人民の闘争を勝利の一路へと導いてきました。

金日成主席と金正日総書記が切り開き、導いてきた朝鮮革命はその第一歩から自主か、従属かを決する鋭い対立と闘争の中で行われました。しかし、金日成主席と金正日総書記はいかなる場合にも自主の立場を変えたり、譲歩したりしませんでした。

すべての問題を徹頭徹尾、朝鮮革命を中心にして解決した金日成主席と金正日総書記の透徹した自主政治によって困難かつ複雑な社会的変革が朝鮮人民の志向とわが国の具体的実情に即して成功裏に遂行され、わが共和国が国際舞台で自分の発言権と影響力

を堂々と行使することができ、帝国主義者の封鎖と圧殺策動がそのつどことごとく粉碎されるようになりました。

金日成主席の生誕 100 周年慶祝閱兵式でおこなった最初の公開演説で金正恩総書記は、金日成主席と金正日総書記が切り開いた自主の道、社会主義の道に沿ってまっすぐに進もうとする自分の固い決心と確固不動の意志を内外に厳かに闡明しました。

わが共和国がアメリカをはじめとした敵対勢力の制裁と圧力を粉碎し、自己の尊厳と栄誉を固守し、社会主義の全面的発展を成し遂げているのは自主政治の輝かしい結実です。

世界は激動の出来事を通じて、いかなる雷鳴にも微動だにしない金正恩総書記の自主政治の真髄とその威力をはっきり見ました。

わが共和国の 75 年の歴史は自立的民族経済建設路線を一貫して堅持してきた歴史として輝いています。

自立的民族経済は他国に従属されず、自分の足で歩いていく経済、自国人民のために奉仕し、自国の資源と人民の力に依拠して発展する経済です。

かつて、帝国主義植民地支配によって経済技術的に立ち遅れていた国々で自立的民族経済の建設は死活の問題として提起されています。もちろん、経済技術的に立ち遅れた国々で自立的民族経済を建設するということは容易なことではありません。しかし、困難であるからといって自立的民族経済を建設しないと立ち遅れた境遇から永遠に脱することができず、いつまでも他国に物乞いしながら暮らしていくしかないのです。

自立的民族経済を建設するためには経済建設で自力更生の原則を堅持しなければなりません。自力更生は自力で革命をあくまで行おうとする革命精神であり、闘争原則です。自国人民の力と自国の資源を動員し、自らの資金と技術に依拠してこそ、経済を主動的に、急テンポで発展させることができ、あらゆる難関を克服して国の隆盛と繁栄を成し遂げることができます。

金正恩総書記は朝鮮労働党第 8 回大会で新たな国家経済発展 5 ヶ年計画の基本種子、テーマは、依然として自力更生、自給自足であると明らかにしました。

今日、朝鮮人民は自力更生の旗を高く掲げて社会主義強国建設を力強く促しています。経済を多面的に、総合的に発展させることは自立的民族経済建設で重要な問題として提起されます。

1950 年代の中葉、現代修正主義者は世界の社会主義運動内で専横をほしいままにして社会主義諸国を経済的に従属させようと策動しました。彼らは朝鮮労働党の社会主義経済建設の基本路線をけなし、朝鮮で近代的な機械を生産するのは時が早いし、また収支バランスもとれないので原料を生産して機械は買って来て利用すればいいとしました。

もし、彼らの言葉通りにするならば、朝鮮はかつての立ち遅れた境遇から永遠に脱することができず、後の世代に空になったほら穴しか譲り渡せなくなるだろうし、いつになっても自立的民族経済を建設することができませんでした。

結局、これは自立か、依存か、自主か、従属かを決する重大な運命的な問題でした。

ゆえに、わが共和国は現代修正主義者の策動を断固粉碎し、重工業を優先的に発展させながら軽工業と農業を同時に発展させるという社会主義経済建設の基本路線を徹底的に堅持しました。それでソ連と東欧社会主義諸国が崩壊する時もわが共和国は自己発展の道を堂々と歩み続けることができました。

自らの原料、燃料に依拠する経済を抜きにして自立的民族経済について考えられません。われわれは自国の天然資源を最大限に探求利用し、工業を最初から自国の原料と燃料に依拠する工業に発展させてきました。

わが国で最近、毎年記念碑的建造物がより驚くべき速度で建てられ、数多くの大建設事業がよりスケールが大きく展開されているのは、自立的民族経済の無限の潜在力にたいする力強い誇示となります。

いかなる力も自力で生きていくわが共和国の道を変更させることも、経済も窒息させることができません。自立的民族経済をもっていることにより、朝鮮の発展展望は非常に大きいです。

自立的民族経済建設の道、まさにこの道のみがいかなる経済的支配と従属にかかわらず、復興・繁栄を成し遂げることができるもっとも正しい道です。

わが共和国の75年の歴史は自衛的国防力を建設し、強化してきた歴史として輝いています。

国防における自衛を実現するという事は、自力で自国を守ることを意味します。言い換えれば、自分を守ることができる強力な国家防衛力を築き、国防建設と軍事活動におけるすべての問題を自力で、独自の十分に解決するという事です。

人民大衆の運命開拓のための闘争は、帝国主義者との力の対決を伴う熾烈な闘争です。力によって他国、他民族を圧殺し、世界を支配しようとする帝国主義者の本性は今日に至ってさらに露骨化されています。

力の論理が支配する今日、拳が弱ければ、その拳で自分の涙を拭くしかないのです。自分を守りぬける力と能力がなければ、必ず悲惨な運命に処されるようになるというのは歴史と現実が示す深刻な教訓です。

わが共和国は創建された当初から今日に至るまでの全歴史的道程において国防における自衛の原則を確固と堅持し、国の軍事力を強化するための闘争を力強く繰り広げました。

自衛的国防力を建設する上で基本は軍隊を強化することです。

朝鮮労働党は主体的な軍建設思想を示し、輝かしく実現して人民軍を党の偉業、社会主義偉業を守る必勝不敗の革命的武装隊伍として強化発展させました。それで人民軍は政治的・思想的に軍事的・技術的にしっかり準備された「一当百」の革命武力に、人民の自由と幸福を守る真の人民の革命武力になりました。

全人民的、全国家的防衛システムを樹立することは自衛的国防力を建設する上で重要な意義をもちます。

主席はチュチェ 51 (1962) 年 12 月、朝鮮労働党中央委員会第 4 期第 5 回総会で「片手には銃を、片手には鎌とハンマーを！」という戦闘的スローガンを示しました。このスローガンは朝鮮における全民武装化を明白に象徴しています。

朝鮮労働党の全国要塞化の方針に従って今日、朝鮮は前線と海岸ばかりでなくすべての地域と地帯が現代戦の要求と国の地形条件に合わせて強固に整えられるようになりました。

国防工業は自衛的国防力の物質的保証です。朝鮮労働党は民族国防工業を自立的に、近代的に発展させることを国と民族の生死存亡と関わる重大な問題として提起し、これに大きな力を注ぎました。

かつて、侵略者が大砲、軍艦をもって攻めてくるときに火縄銃もろくになくて植民地奴隷の運命を強いられていた朝鮮が今日は強力な国防工業に依拠した自衛的軍事力に支えられて自主と正義のとりで、社会主義の不敗のとりでとして高く浮上し、尊厳を轟かせています。

2023 年 2 月 8 日に行われた朝鮮人民軍創建 75 周年慶祝閱兵式と 7 月 27 日に行われた偉大な祖国解放戦争勝利 70 周年慶祝閱兵式は帝国主義の暴制を完璧に制圧し粉碎できる絶対的な力を備蓄した最強の革命武力の強大無比の力を満天下に示威しました。

自衛的国防力によって保証されるがゆえに、朝鮮式社会主義は勝利的に前進しており、朝鮮民族の未来は輝かしいものです。

偉大な領袖、偉大な指導者をいただくとき、領土も大きくなく、人口も多くない国、かつて立ち遅れていた国が自主、自立、自衛の世界的な強国として全世界に光を放つことができるということはわが共和国の 75 年の歴史が刻みつける真理です。

世界は金正恩総書記を高くいただいて自主、自立、自衛の旗を高く掲げて前進するわが共和国が近い将来にどのように人民の自主的理想と幸福を輝かしく実現するかをはつきり目にするでしょう。

ありがとうございます。